

経営企画部門

病院経営分析のためのExcelスキル ● 第3回

分析の「形」を重視する場合は「分身の術」で効率化

ゴールドenルール・コンサルティング株式会社代表
芦田弘毅

IT系の人たちの間では、プログラマーを評価する「手が早い」という言葉があります。要するに、理屈をこねる前に、パバツとプログラムを打ち込める「手」を持っているという意味です。

プログラマーは、発注者が持つイメージ・リクエストをプログラムという形に落としこむのが仕事です。ただ、「手が早い」プログラマーにも2種類あり、「プログラムの効率性や後々のメンテナンスを考えずに要望事項をそのままプログラムに落とし込んでいく」タイプと、「リクエストの本質を捉えながら、繰り返し部分を極力まとめたり、メインの支柱から分岐枝がはつきりわかるような論理構造が明確な」タイプがあります。後者を「設計者」とすれば、前者は「工場の組み立て従業員」といえるかもしれません。

この2つの役割を使い分けできる人材が理想ですが、病院の企画部門が志向しているのは、あくまで後者のような「設計者」です。グラフをつくる際、この「設計」を意識して行っているかどうか、その人の企画部門適性として重要になってきます。

企画部門で大変なのは、分析資料をつくる負担。ここでポイントになるのは、ルーチン分析とスペシャル分析があることです。

たとえば病院の状況をモニターするルーチンは、設計がしっかりしたグラフを一度完成させてしまえば、後は数字を入れるだけです。前号・前々号でお伝えした稼働分析のグラフは、毎回つくる必要がなく数字を入れるだけ。年度が替われば、直近3カ年に数字を入れ替えればよいというわけです。そのモニター過程で異常や不思議が観測された時、「なぜか」を考えるため、怪しい部分を個別に深掘りする「スペシャル分析」にエネルギーを注げばいいのです。

「**分身の術**」使って分析グラフを大量生産
一度つくり上げた、柔道という「形」を大切にして、1つの種グラフ

表 VLOOKUP処理後の3DPC在院日数

傷病名 (MDC6)	DPC	在院日数	症例数
①虫垂炎	060150xx02xx0x	4	#N/A
		5	16
		6	#N/A
		7	14
		8	4
②胆嚢疾患(胆嚢結石など)	060330xx02xxxx	9	3
		10~	1
		4	#N/A
		5	4
		6	8
③胆嚢水腫、胆嚢炎など	060335xx0200xx	7	3
		8	#N/A
		9	1
		10~	#N/A
		4	1
		5	13
		6	16
		7	3
		8	5
		9	3
10~	3		

図5 グラフの最終形

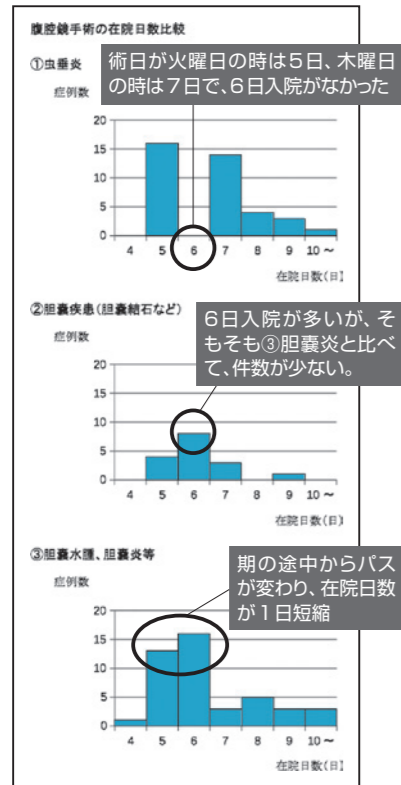


図1 グラフの作成

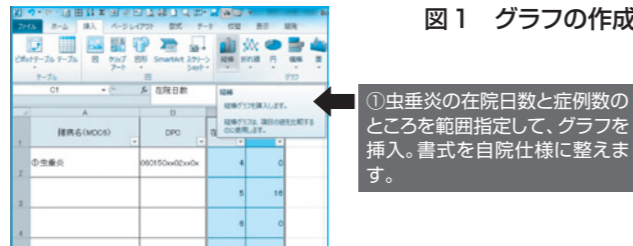


図2 グラフのコピー

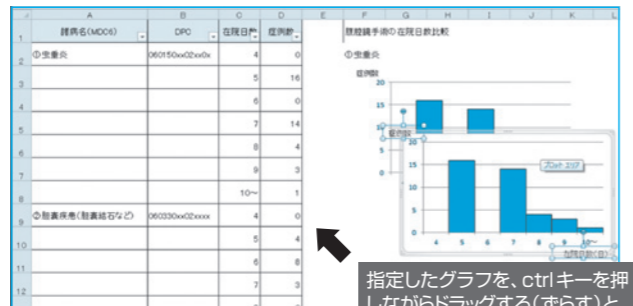
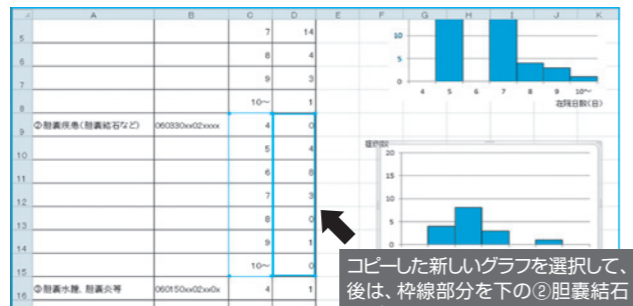


図3 グラフ内の該当データ



図4 グラフデータ部分の移動



DATA
ゴールドenルール・コンサルティング株式会社
 東京都渋谷区渋谷2-7-14
 中村ビル5F
 TEL : 03-6427-6382
 E-mail : info@g-rules.co.jp
 URL : http://g-rules.co.jp/

「分身の術」を使わなければ、一つひとつのグラフをつくっていくのに膨大な手間がかかります。この方法であれば、3つといわず多数のDPCをまとめて処理することも可能です。

まず、②の対応として「10」の行をつくって、10以上の在院日数症例をまとめます。次に、①に対応するために、4から9および10

10を並べた表をつくり、VLOOKUP関数を使いながら、3DPCそれぞれに表をつくり、VLOOKUP式を1つつくれば、

3DPCにしても、データ範囲の指定を変えるだけで、原則全部コピー・貼りつけ対応できます。この後、「#N/A」の部分は、該当なしということなので、症例「0」に置き換えます。ここからは、図1~4を参照ください。

■読み手に「伝えたい」情報を付加

後は、企画部らしく、読み手に伝えたい、グラフからの情報を付け加えましょう。たとえば、①虫垂炎について、「欠落させたくない大切な情報」とは、「6日の症例がゼロ」という情報です。横軸が日数順に並んでいないと、5~7の範囲で見た時の症例規模を③胆嚢炎と比較できません。もう一つ、縦軸の症例数の単位も①~③で揃えています。そのことにより、①③と比較して、②胆嚢結石の症例規模の少なさが、視覚的に分かります(図5)。